



PRESS RELEASE

令和 7 年 11 月 26 日

**クライオトモグラフィー用クライオプラズマ FIB-SEM 装置「Arctis」を初導入
～国内 2 台目・西日本初、細胞の“ありのまま”の構造解析が可能に～**

本学は、2025 年 11 月 1 日より、クライオトモグラフィー用クライオプラズマ FIB-SEM 装置「Arctis」（サーモフィッシャーサイエンティフィック社製）の共用を開始しました。本装置は国内で 2 台目、西日本では初導入となります。研究設備・機器の共用化を推進する取り組みの一環として整備を進めてきたもので、岡山大学高等先鋭研究院を構成するひとつである異分野基礎科学研究所（所長：沈建仁教授、所在：本学津島キャンパス）に設置しました。

「Arctis」は、凍結した細胞試料を高精度に加工できる最先端の装置で、切り出した試料をホルダーの交換なしにクライオ電子顕微鏡「Krios G4」（300 kV、同社製）へそのまま移送し観察できます。これにより、細胞内の構造を“生きたまま”、“ありのまま”の状態で観察することが可能となり、細胞内のタンパク質やオルガネラなどの立体構造解析が飛躍的に進むことが期待されます。

本装置は学内研究者に加え、学外機関にも広く共用を開放しており、生命科学・医学・薬学など幅広い分野での研究支援を通じて、地域から全国へとつながる先端研究基盤の形成を目指します。ぜひ大学関係者のみならず公設試、産業界などさまざまな方々にご利用いただければ幸いです。引き続き、地域中核・特色ある研究大学：岡山大学の取り組みにご期待ください。

○岡山大学コアファシリティポータル「クライオトモグラフィー用クライオプラズマ FIB-SEM 装置「Arctis」」の装置概要、予約、依頼測定への申込はこちら

<https://corefacility-potal.fsp.okayama-u.ac.jp/equipment/view/1408>



岡山大学異分野基礎科学研究所（津島キャンパス）



共用を開始したクライオトモグラフィー用クライオプラズマ FIB-SEM 装置「Arctis」

<お問い合わせ>

岡山大学 総合技術部事務室

// 研究・イノベーション共創管理統括部

(電話番号) 086-251-8816